

問

代表・一般質問を平成21年2月23日、24日、25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問
議案の審議に先立ち、各会派を代表する11名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

「信頼される政治」実現へ！ 信念に基づき区政を質す



自由民主党
新井 英生 議員

議会と執行機関との情報共有のあり方をどう認識しているのか

【問】報道機関に情報提供する場合、的確なタイミングで行うことが重要である。このところ議会軽視と思われる対応が見受けられたが、議会と執行機関との情報共有のあり方をどう認識しているのか。

【区長】しかるべき時期に情報の提供を行い、共有が図られるべきものと認識しており、予想外の事態には、報道対応とあわせて議会への情報提供を速やかに行うよう努めている。

今後とも、区民の信頼や協力を得る第一歩と考え、積極的な情報発信を庁内に徹底していく。幹部職員の仕事異動はどのような視点で行っているのか

【問】昨年の幹部職員の人事異動は、区長の意思が強く反映されているとの評価がある。職員を萎縮させず意欲をもたすことが必要だが、昨年の人事をどう評価し、今年はどのような視点で臨むのか。独裁区政と言われることを危惧し、あえて問う。
【区長】意欲と能力に基づき適材適所の配置が行われたものと

考えており、新年度も、適材適所を基本に行いたい。

区長の定額給付金に対する考え方を伺う



【問】委員会における区民部長の発言は、中立であるべき行政としていささか疑問が残る。区長自身は、定額給付金をどのように考えるのか。

また、寄付を求めることは、政府が推奨する消費刺激策にそぐわないと思うがどうか。

さらに、定額給付金の効果をどのように判断するか。

【区長】定額給付金は、自治事務としてその課題を克服しつつ、給付事務を執行していきたい。

新設する「協働パートナー基金」への寄付であれば、NPO等の事業に助成することで、消費行動に転化させていく。効果は、国の試算どおり4割

と仮定しても、約40億円が消費に充てられる計算になる。
緊急経済対策の主眼は何か

【問】緊急経済対策の主眼はどこにあるのか。そして、区内経済に対する寄与度はどの程度と予測しているのか。

また、区の一般財源投入規模はどの程度を見込んでいるのか。

【産業経済】今回の対策は、現在の危機を乗り越え未来へ踏み出すことを主眼として策定した。都の雇用確保対策と連携して実施する緊急雇用創出事業により、延べ1万5千人の雇用の創出等を見込んでいる。

また、緊急経済対策総額約95億円のうち、一般財源を約39億円と見込んでいる。

都区財政調整交付金が見込みを割り込んだ場合の対応策は

【問】平成21年度予算は、都区財政調整交付金が当初見込みを割り込んだ場合、区債の借り換えを念頭に置いているのか。

また、基金残高が93億円を超える現在、各基金の活用計画等を策定し、早期に議会や区民に説明する必要があるがどうか。

【区長】新たな財源対策が必要な場合は、基金の活用を図るが、起債可能事業を再度精査するとともに、借り換えも選択肢の一

つとして検討していく。

また、基金の活用計画等は、現在策定中の中期財政計画で示すべく、作業を進めている。

アセットマネジメントシステム導入のメリットは何か

【問】今後導入されるアセットマネジメントシステムを活用し、財政計画と連動した施設再配置に取り組む」とあるが、システム化するメリットは何か。

【資産管理】今後、小・中学校等の公共施設の更新時期が順次到来する。資産の一元管理を踏まえ、個々の施設更新の時期、更新経費予測等の機能を持つアセットマネジメントシステムの導入が今、必要と判断した。

花畑団地の再生事業をどのように進めるのか

【問】花畑団地の再生事業は、都市再生機構(UR)の事業計画策定前に、区が地域の要望を聴取し、URと協議すべきだ。区長は昨年、当団地周辺を視察しているが、今後の考えを伺う。

【区長】昨年5月に花畑団地に伺い、UR、団地自治会の方と魅力的なまちづくりのために協議していくことを確認した。

今後、居住者等の意向の把握に努めながら、活用方法を取りまとめ、URに伝えていく。

第4期介護保険事業計画の保険料据え置きは本当に大丈夫か

【問】少子高齢社会に加え、世界同時経済危機により、高齢者福祉の将来には、大変厳しいものがある。わが党は、現行の介護保険料を据え置きは赤字が発生し、それが後年度の負担になりかねないという危惧するがどうか。



【区長】昨年12月、地域保健福祉推進協議会会長より、介護保険料の答申を頂いた。答申は極めて重いものと認識している。しかし、10年に一度と言われ

る経済危機が日本を襲う中、介護保険料据え置きの方針を決定した。所管の担当等を立ち上げ、全庁的に全力を挙げて介護予防に力を入れ、給付費を抑制していく決意で臨んでいきたい。

竹の塚のまちづくりにはURとの話し合いが最も重要である

【問】竹ノ塚駅踏切高架化に伴い、東口の再開発に全力を注ぐべきである。その際、駅前道路の両側を所有する独立行政法人都市再生機構(UR)との話し合いが最も重要になるがどうか。

【市街地】補助255号線までの区間は、「駅前顔づくりゾーン」と位置づけ、URに伝えている。UR団地は、現時点では建替え対象ではないが、今後、計画変更を誘導していくためにも、区が明確なビジョンを持ち、URとの協議を継続していく。

足立区の未来を見据えた施策を！



自由民主党
浜崎 健一 議員

多様な人材を登用せよ

【問】現在では、管理職試験合格者のみ区政執行のリーダーとなり得るが、今後は、区長直属の財政政策諮問会議のような組織により、職員や、年齢差を越えた優秀な民間人も含めた人材とのブレインストーミングも必要と思うがどうか。

【政策経営】区職員の能力活用にとどまらず、専門知識・技能

を集積した大学等の外部機関との連携を更に進めていく。



また、若手職員も含めた多様